

親の直感で訴えた。

ミラクル

実希



2

▶ 重し、実希へは「しばらくの間、激しい運動はできない」という説明にと

「言わないで」

と診断された。

「実希には本当のこと

を言わないでほしい」。

2006年1月、両親の

沢田佳孝(62)、県立芸術

文化短大教授、和子(55)

は、福岡大学病院の医師

に懇願した。

国体陸上県最終選考会に出場した沢田実希のレースを観戦する母和子(中央)。(7月、大分市営陸上競技場)

子は心配のあまり「大丈

夫やろか、この子は」とつぶやいた。それを耳に

した腎臓・膠原病内科の

医師、小河原悟は「普通

どめた。競技への復帰は

「治療次第」と希望を与

え、見通しは「1ヶ月の

入院と半年の投薬治療

と説明。しかし、最終的

に「この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

なら競技復帰は99%駄目

だが、この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

実希は「本当の病状は

うすうす感じていたが、

誰かに尋ねるようなこと

はしなかつた。走りたい

という気持ちが強過ぎ、

どうしていいだろう。特に実希は器

用なタイプではない。本

病室を回診したとき、和

子は心配のあまり「大丈

夫やろか、この子は」とつぶやいた。それを耳に

した腎臓・膠原病内科の

医師、小河原悟は「普通

どめた。競技への復帰は

「治療次第」と希望を与

え、見通しは「1ヶ月の

入院と半年の投薬治療

と説明。しかし、最終的

に「この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

なら競技復帰は99%駄目

だが、この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

実希は「本当の病状は

うすうす感じていたが、

誰かに尋ねるようなこと

はしなかつた。走りたい

という気持ちが強過ぎ、

どうしていいだろう。特に実希は器

用なタイプではない。本

病室を回診したとき、和

子は心配のあまり「大丈

夫やろか、この子は」とつぶやいた。それを耳に

した腎臓・膠原病内科の

医師、小河原悟は「普通

どめた。競技への復帰は

「治療次第」と希望を与

え、見通しは「1ヶ月の

入院と半年の投薬治療

と説明。しかし、最終的

に「この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

なら競技復帰は99%駄目

だが、この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

実希は「本当の病状は

うすうす感じていたが、

誰かに尋ねるようなこと

はしなかつた。走りたい

という気持ちが強過ぎ、

どうしていいだろう。特に実希は器

用なタイプではない。本

病室を回診したとき、和

子は心配のあまり「大丈

夫やろか、この子は」とつぶやいた。それを耳に

した腎臓・膠原病内科の

医師、小河原悟は「普通

どめた。競技への復帰は

「治療次第」と希望を与

え、見通しは「1ヶ月の

入院と半年の投薬治療

と説明。しかし、最終的

に「この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

なら競技復帰は99%駄目

だが、この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

実希は「本当の病状は

うすうす感じていたが、

誰かに尋ねるようなこと

はしなかつた。走りたい

という気持ちが強過ぎ、

どうしていいだろう。特に実希は器

用なタイプではない。本

病室を回診したとき、和

子は心配のあまり「大丈

夫やろか、この子は」とつぶやいた。それを耳に

した腎臓・膠原病内科の

医師、小河原悟は「普通

どめた。競技への復帰は

「治療次第」と希望を与

え、見通しは「1ヶ月の

入院と半年の投薬治療

と説明。しかし、最終的

に「この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

なら競技復帰は99%駄目

だが、この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

実希は「本当の病状は

うすうす感じていたが、

誰かに尋ねるようなこと

はしなかつた。走りたい

という気持ちが強過ぎ、

どうしていいだろう。特に実希は器

用なタイプではない。本

病室を回診したとき、和

子は心配のあまり「大丈

夫やろか、この子は」とつぶやいた。それを耳に

した腎臓・膠原病内科の

医師、小河原悟は「普通

どめた。競技への復帰は

「治療次第」と希望を与

え、見通しは「1ヶ月の

入院と半年の投薬治療

と説明。しかし、最終的

に「この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

なら競技復帰は99%駄目

だが、この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

実希は「本当の病状は

うすうす感じていたが、

誰かに尋ねるようなこと

はしなかつた。走りたい

という気持ちが強過ぎ、

どうしていいだろう。特に実希は器

用なタイプではない。本

病室を回診したとき、和

子は心配のあまり「大丈

夫やろか、この子は」とつぶやいた。それを耳に

した腎臓・膠原病内科の

医師、小河原悟は「普通

どめた。競技への復帰は

「治療次第」と希望を与

え、見通しは「1ヶ月の

入院と半年の投薬治療

と説明。しかし、最終的

に「この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

なら競技復帰は99%駄目

だが、この子なら残り1

%の可能性があるかもし

れない」とことえた。

実希は「本当の病状は

うすうす感じていたが、

誰かに尋ねるようなこと

はしなかつた。走りたい

という気持ちが強過ぎ、

どうしていいだろう。特に実希は器

用なタイプではない。本

病室を回診したとき、和

子は心配のあまり「大丈

夫やろか、この子は」とつぶやいた。それを耳に

した腎臓・膠